

第一次案内

SAGAそう 子どもの未来
見直そう PTAの力



第68回 日本PTA九州ブロック研究大会

佐賀大会

大会1日目(分科会)

大会2日目(全体会)

令和5年

10/28 土

【会場】県内6会場
【受付開始】12:00 【開演】13:00

10/29 日

【会場】SAGAアリーナ
【受付開始】8:30 【開演】9:00

【参加者】九州ブロックPTA関係者(約6,000人)

大会趣旨

PTAは社会教育法に規定される社会教育関係団体である。しかし、子供たちのためにという言葉だけが先行して、社会教育という目的を見失っているのが今日の状況ではないだろうか。PTAの目的は教師と保護者、保護者間の連携・協力・相互学習、さらに地域との連携の中で、学校教育・家庭教育・社会教育の全てがより良くなることを通じて児童生徒の健全育成を実現することにある。

佐賀大会ではスローガンを「SAGAそう 子どもの未来 見直そう PTAの力」とし、PTAの存在意義を改めて見つめ直す機会とする。子供たちの現状とその環境をしっかりと見つめるとともに、未来のためにPTAが本来持っている力を今こそ見直していく必要がある。家庭・学校・地域の一体的なつながりをより強くし、より深化した組織の在り方とは何かを問う機会としたい。

九P佐賀大会
PR動画



第68回 日本PTA九州ブロック研究大会 佐賀大会 参加報告

<大会趣旨>

九州各県小中PTA執行部と先生方約5000人が佐賀に集い、組織、広報、地域連携等5つの分科会や全体会で他団体の取組みや相互理解を図りました。

2023/10/28-29 北中執行部

【主催】九州ブロックPTA協議会 【主管】佐賀県PTA連合会

大会日程・スケジュール



第68回 日本PTA九州ブロック研究大会

佐賀大会要旨

大会スローガン

**SAGAそう 子どもの未来
見直そう PTAの力**

趣旨

PTAは社会教育法に規定される社会教育関係団体である。しかし、子供たちのためにという言葉だけが先行して、社会教育という目的を見失っているのが今日の状況ではないだろうか。PTAの目的は教師と保護者、保護者間の連携・協力・相互学習、さらに地域との連携の中で、学校教育・家庭教育・社会教育の全てがより良くなることを通じて児童生徒の健全育成を実現することにある。

佐賀大会ではスローガンを「SAGAそう 子どもの未来 見直そう PTAの力」とし、PTAの存在意義を改めて見つめ直す機会とする。子供たちの現状とその環境をしっかりと見つめるとともに、未来のためにPTAが本来持っている力を今こそ見直していく必要がある。家庭・学校・地域の一体的なつながりをより強くし、より深化した組織の在り方とは何かを問う機会としたい。

研究主題

「家庭や地域の教育力を高め、すべての人が子どもの健やかな成長に関わりをもつ社会を目指して」

主催

九州ブロックPTA協議会

主管

佐賀県PTA連合会

後援

文部科学省、公益社団法人日本PTA全国協議会、佐賀県、佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、佐賀県教育委員会、佐賀市教育委員会、唐津市教育委員会、鳥栖市教育委員会、武雄市教育委員会、鹿島市教育委員会、佐賀県小中学校校長会

開催日

令和5年 10月28日(土)・10月29日(日)

会場

[全体会] SAGAアリーナ [分科会] 県内6会場

参加者

九州ブロックPTA関係者(約6,000人)

参加費

5,000円/人

スケジュール

| 日程 | 研究領域 | 討議題 | 討議の柱 | 責任者 | 司会者 副司会者 進行者 | 記録者 | 会場 (収容人数) | 参加数 |
|--|----------------------|--|--|--|---|-----|----------------------------|-------|
| 前日 10月27日(金) | 第1分科会 「組織・運営」 | 家庭・学校・地域の つながりを強化した 組織・運営 | ①地域の現状に応じた未来へ つなぐ組織・運営 ②状況変化に対応した組織・ 運営 | 佐賀県PTA協議会 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 佐賀県 | 鳥栖市民文化会館 (1,518) | 1,000 |
| 前日準備 打ち合わせ ホテルニューオータニ佐賀 ●事前打ち合せ ●レセプション | 第2分科会 「家庭教育」 | 「Resilience」 生き抜く力を育む | ①困難を乗り越えていく力 を身につける家庭教育 ②家庭教育を支える環境と 意識にならない仕組みづく り | 佐賀県PTA協議会 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 佐賀県 | 佐賀市文化会館 中ホール (808) | 700 |
| 1日目 10月28日(土) | 第3分科会 「人権教育」 | 現在の人権教育を知り、 向き合う活動 | ①現在の人権問題について 学ぶ場とする ②子供たちの明るい未来の ために我々PTAは何をす べきか | 佐賀県PTA協議会 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 佐賀県 | 唐津市文化体育館 (1,000) | 900 |
| 分科会 各会場 | 第4分科会 「教育環境」 | 多様化する教育環境と PTAの役割 | ①PTAを含む地域と学校 との教育環境づくり ②価値のない平等な教育に 向けて地域・行政・PTA の連携 | 佐賀県PTA協議会 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 佐賀県 | 武雄市文化会館 (1,504) | 1,100 |
| ●受付 12:00～13:00 ●閉会行事 13:00～13:30 ●研究討議 13:30～16:30 ●閉会行事 16:30～16:45 | 第5分科会 「広報・地域連携」 | 学校・家庭・地域が 有機的につながり、 共に高め合うPTA活動 の推進 | ①時代に即した情報発信の あり方とは ②学校・家庭・地域のつながりを 数層化させず、共にWin-Winの 関係となる連携のあり方とは | 佐賀県PTA協議会 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 佐賀県 | 鹿島市民文化ホール (750) | 700 |
| 2日目 10月29日(日) | 特別分科会 「そもそもPTAとは」 | 今こそ見つめなおそう PTAの存在意義 | ①これからの時代のニーズ に応えるPTAの姿とは ②PTA本来の姿を取り戻す ための私たちの取り組み | 佐賀県PTA協議会 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 福岡市 佐賀県 唐津市 佐賀県 鳥栖市 佐賀県 武雄市 佐賀県 鹿島市 佐賀県 | 佐賀県 | 佐賀市文化会館 大ホール (1,811) | 1,600 |

| | |
|-----------|-------------|
| ① 受付 | 08:30～09:00 |
| ② アトラクション | 09:00～09:25 |
| ③ 開会式 | 09:30～10:00 |
| ④ 表彰式 | 10:00～10:30 |
| ⑤ 全体会 | 10:30～10:40 |
| ⑥ 閉会式 | 10:40～11:10 |
| ⑦ 講演 | 11:20～12:30 |

記念講演 11:20～12:30 会場: SAGAアリーナ

講師: 株式会社 タニタ 代表取締役社長 **谷田 千里氏**

1972年大府市生まれ、1997年佐賀大学理工学部卒、産科総合研究所などを
経て2001年タニタ入社、2005年タニタアメリカ取締役、2008年5月から現職。
51歳、レシオ本のヒットで話題となった社員食堂のメニューを提供する「タニタ食堂」
専業主婦、企業中絶治療の健康づくりを支援する「タニタ健康プログラム」などを展開し、
タニタが「健康をはかる」だけでなく「健康をつくる」健康経営企業へと変貌させた。



毎年九州各県を持ち回り開催しています。
熊本ではR3年度に開催予定でしたが、コロナの
ため中止となっています。

1日目
・佐賀市、鳥栖市、唐津市、
鹿島市などで分科会開催

・分科会テーマは地域連携、
情報発信、組織など

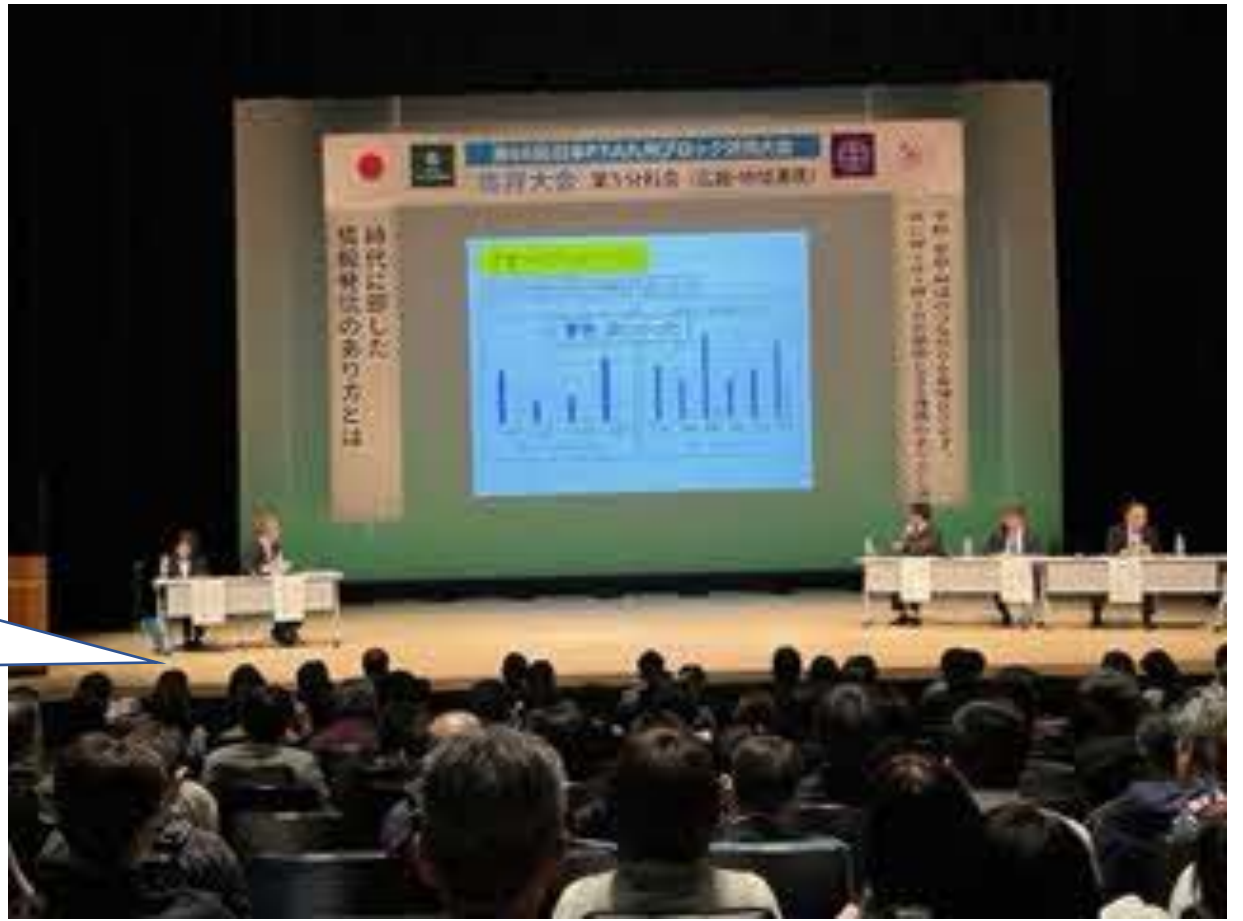
2日目
・佐賀市SAGAアリーナで
全大会開催

・大会宣言、功労者表彰、
講演会等

2 【1日目】第5分科会概要 テーマ「広報 地域連携」



会場は鹿島市民文化ホール



熊本県玉名市滑石小PTAと教頭から事例紹介
約500名が参加

2 【1日目】第5分科会概要 テーマ「広報 **地域連携**」



滑石小 全校生徒91名。校区の全ての行事が公民館をトップに自治会等各種団体で構成される組織で企画運営。PTAは同会副会長。学校運動会も同会主催
⇒北中でも地域の各種団体との会議にも参加していますが、更に情報共有連携強化が必要です

- 課題**
- 教職員の定期異動、PTA役員交代で、活動の運営を模索する場面があった。
 - アフターコロナや働き方改革の現状から、活動のやり方や支援の仕方を工夫する必要がある。
 - PTA会員の減少、教育の多様化により、持続可能な取組にしていこうため負担が大きくなっていく。

⇒これだけコンパクトなコミュニティの校区においても、運営上の課題はどこの学校も共通しているようです。

2 【1日目】第5分科会概要 テーマ「広報 地域連携」



宮古島中（沖縄） 全校生徒50名。PTA新聞はお母さん達の手作り。お母さん全員が広報委員。新聞づくり作業を通じてコミュニティが活性化しているそうです。
⇒北中では広報委員さんが担当しており、前期後期と分担し発行しています。

手作りPTA広報誌

写真やコメントを切り張り、版下作製経費0円印刷は学校コピー機。入学式、運動会、サビキ体験等年5回発行。全世帯配布(HPでも)のため学校の様子が良く理解されているそうです。
⇒北中では版下作製印刷を業者委託しています。
手作りの広報誌も温かみがあって良いかもしれません。



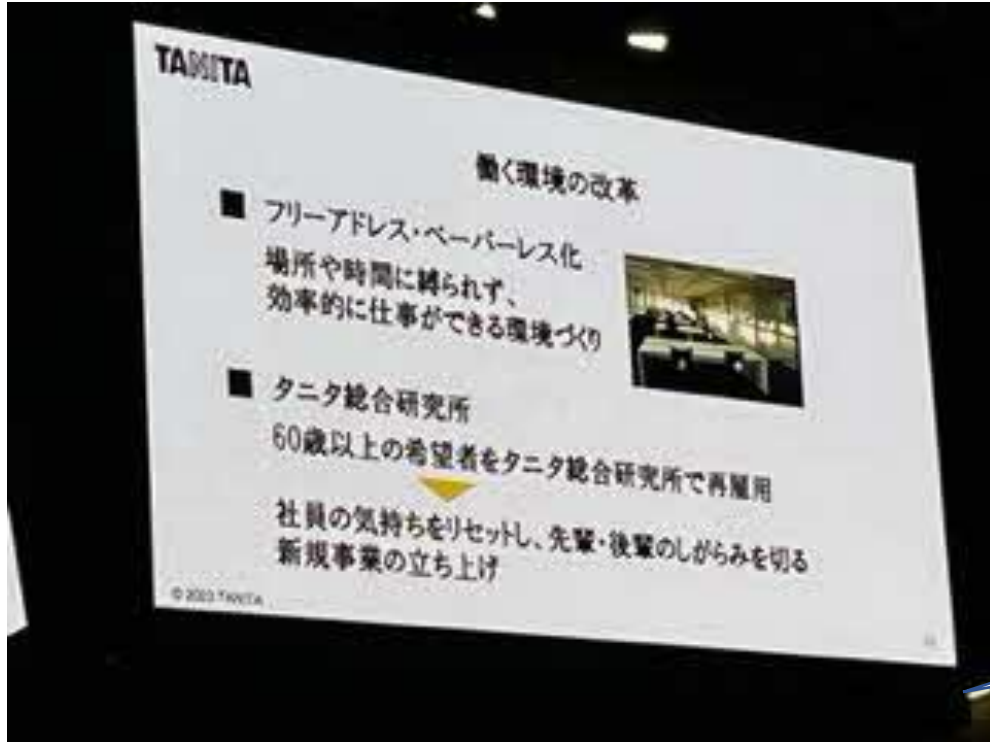
3 【2日目】全体会概要 SAGAアリーナ「功労者表彰等」



- ・OPは地元高校生による吹奏楽演奏
- ・次いで長年PTA活動に尽力した組織、PTA会長さんの表彰がありました。(熊本市は、前市P協議会松島雄二郎会長、城北小小崎会長(市P協議会北区トップ))
- ・今大会宣言が採択されました
- ・赤枠は熊本県内小中執行部

⇒他県では長年子ども達の見守りや行事に携わってきた人々が受賞していました。毎年市P協議会を通じて推薦依頼が来ますので、北中管内でも同様の方がいれば推薦できれば更に活動の励みになると思います。

3 【2日目】全体会概要 SAGAアリーナ「記念講演、はなわトークショー」



- ・ 体温計やタニタ食堂など健康産業としてメジャーなタニタの谷田社長の講演(佐賀大学OBでOFFー)
- ・ 社員の雇用形態を終身から契約も選択できる枠組みの他、働き方改革にも積極的に取り組むことで、ヒット商品を量産できる仕組みの紹介がありました。

⇒PTA組織や運営方法も生産性が向上する柔軟な考え方が必要のようです

佐賀県出身のミュージシャン。佐賀の自虐初を歌詞にした歌だけでなく、複雑な家庭環境でも明るく力強く生きる姿の歌など3曲披露されました。
⇒実は真面目で逆境にもめげず家族を大切にし、一生懸命頑張ってる外ハムさんでした。長男は柔道インターハイ2位の猛者だそうです



次回大会

2024 NAGASAKI

学びと実践へ!
～未来の 国産教育 創るために～

第69回 日本PTA九州ブロック研究大会

長崎大会

大会1日目 分科会 大会2日目 全体会

令和6年
10.26 土 **10.27** 日

受付開始 12:00 開始 13:00 受付開始 13:30 開始 9:00

📍 出陣メッセ長崎

参加者/九州ブロックPTA関係者(約6,000人)

主催/九州ブロックPTA協議会 主協/長崎県PTA連合会